

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年2月前半）

### 1. 経済

- アルセロール・ミタル社（本社当国）、2013年第4四半期の総売上高は19,848百万ドル（同年第3四半期は19,643百万ドル）、2013年全体の総売上高は79,440百万ドル（前年は84,213百万ドル）。（7日付アルセロール・ミタル社コミュニケ）
- 2013年、フィンデル空港の旅客利用者数は2,197,497名で、前年比+14.5%。また、取扱い貨物量は673,500トンで、前年比+9.5%（8日付ル・コティディアン紙）
- KPMGルクセンブルク社、2013年の収益は137.6百万ユーロで、前年比+4%。特に、コンサルティング業務（前年比+6%）において好調であった。（10日付ヴォルト紙電子版）
- 公共事業省、当国Lise et fils社に対し、エッシュ・シュール・アルゼット及びシフランジュをまたぐ地区におけるアスファルト工場の設置を11日に認可。（11日付公共事業省コミュニケ）

### 2. 金融

- 2014年に欧州銀行監督局（EBA）により実施されるストレステストにおいて、当国では国立貯蓄銀行及びプレジジョン・キャピタル（BIL銀行及びKBLヨーロッパ・プライベートバンカーズの株主）の2行が対象となる旨EBAが発表。（1日付ル・コティディアン紙）
- 2013年12月末時点の当国の投資信託残高は2兆6153億ユーロ（前月比+0.29%、前年比+9.71%）。（5日付金融監督委員会コミュニケ）
- 保険委員会によると、2013年第4四半期における当国保険セクターの収益は約332百万ユーロ（前年同期は336百万ユーロ）。保険料収入は、非生命保険部門で前年同期比+20.3%であるが、生命保険部門では同▲13.32%。（7日付統計局プレスリリース）

### 3. 政府

- グラマーニャ財務相、欧州復興開発銀行（EBRD）のズマ・チャクラバルティ総裁と3日にロンドンで会談。（3日付財務省コミュニケ）
- グラマーニャ財務相、オズボーン英財務相と3日にロンドンで会談。（4日付財務省コミュニケ）
- ペテル首相、8日にルクセンブルク・エンジニア協会が主催する円卓会議で

当国財政及び経済に関するスピーチ。（８日付ヴォルト紙電子版）

●グラメーニャ財務相、関税・物品税局の新庁舎開所式を１０日に実施。（１１日付財務省コミュニケ）

●グラメーニャ財務相、シュピンデルエッガー嬢財務相と１１日にルクセンブルクで会談。（１０日付財務省コミュニケ）

●ベテル首相、１１日に開催されたルクセンブルク商業連合（Confédération Luxembourgeoise du Commerce : C L C）の年次総会にてスピーチ。（１２日付ル・コティディアン紙）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。